

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
卒業研究		PSP45-001	選択	4	4	後期	
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
坂本 祐太 他		D310	y.sakamoto		月曜 13:00~14:40		
授業の目的・概要		本科目では、課題に対して問題を発見し解決する能力や、専門知識と実験技術を問題解決に利用できる能力の向上、経験した内容を客観的に説明する能力の向上を目的とする。担当教員の指導のもと個別の研究テーマあるいは課外活動を設定する。研究および調査では研究計画の立案、データの取得、分析・解析方法、議論の進め方などを体験する。課外活動では得た情報のまとめ方を学び、卒業論文を作成する。					
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言		卒業論文に関する研究は年間を通じて担当教員との対話、指導を可能とする。本科目の履修を希望する者は必ず2、3年のうちに希望分野の教員に相談すること。研究、調査、活動等の計画は研究指導教員と十分打ち合わせをして進めること。					
教科書		各研究指導教員の指示に従うこと。					
参考書		各研究指導教員の指示に従うこと。					
外部教材		各研究指導教員の指示に従うこと。					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針		
①	研究計画にそって文献検索や資料を収集する。				HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)		
②	研究に必要な実験や調査を計画する。				HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)		
③	実験や調査を適切な手順と方法で実施する。				HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)		
④	仮説やデータに基づいて研究成果を論述する。				HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)		
⑤	論文を定められた形式で発表する。				HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)		
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	卒業研究の説明		坂本	講義	科目の説明を行う。		
2-8	研究テーマに関する資料収集・文献抄読・討議・研究計画の立案		[担当] 各担当教員	演習・実習・実技	各研究指導教員の指示に従うこと。	180	
9-18	計画に基づいたデータ計測・解析・整理・処理、情報精査						
19-24	データ解釈・討論、研究結果と考察のまとめ						
25-30	論文執筆、発表用資料作成、討論、発表						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力		0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力		0	40	0	0	40
	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力		0	20	0	0	20
	コミュニケーション力		0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲		0	10	0	0	10
問題を発見・解決する力		0	20	0	0	20	
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
レポート	①	✓	期限内に提出された論文の内容で到達度を評価する。評価内容は、論文の種別によって異なる。共通する評価には、論理的に文章が書かれているか、正確な先行研究や調査との比較を行っているか等がある。研究論文、総説、調査では、基本構造を守っているか、調査デザインの設定、データの扱いの適切さ、研究命題と結果に基づいた考察などを評価する。社会活動報告、その他についても、報告書の趣旨の明確さ、主観と客観の使い分け、パラグラフライティングが行われているか、先行研究や調査と比較をしているか等を評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

備 考	
他 担 当 教 員	高村 浩司、粕山 達也、三科 貴博、坂本 宏史、田中 将志、成 昌燮、関口 賢人、関根 聡美、源 裕介、大塚 篤也、元山 美緒、石井 智也、福田京祐
教員の実務経験	理学療法士として7年の臨床経験、研究の実務経験あり
実践的授業の内容	各教員の専門領域あるいは研究に基づいたテーマの研究、総説、調査、社会活動報告、その他の種別の論文報告書を作成する。 初回の説明以降は担当となる教員と相談の上、日程を調節して実施すること。
そ の 他	<p><b>【注意事項】</b>            テーマを示した理学療法学コースの専任教員と協議の上、担当となる教員を決定し、本科目を受講するものとする。複数の教員を担当とする場合は、主となる教員を相談し、決定すること。なお、作業療法コースの教員のテーマについては、同コースの科目履修とするため相談に申し出ること。            一つのテーマにつき、最大3人の共同著者となる学生を許可する。それ以上となる場合は担当教員に作業の割り振りを報告すること。担当教員より研究、調査等に協力がない学生が判明した場合は、大学の規定する回数欠席をもって履修放棄とみなす。            基本的に1～3年次にテーマを決定し、3年次の3月までにはデータ収集を終えていることを強く推奨する。報告書は「卒業論文作成規定」に基づいて執筆し、卒業論文テンプレート（Word）を使用すること。到達度評価には含まれないが、2月に開催される報告会にて発表を行うこと。</p> <p><b>【感染対策】</b>            今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。</p>